

なほ
 なほ
 なほざり
 なほし
 なほしきさくし
 なほすすせし
 なほらひ
 なほるるれり
 なまトひ
 なまづ
 なまづとだ

直 和名に奈保
 猶 万葉に奈保
 等閑 文選の訓による
 直衣 和名に奈保之
 直 奈保の例あり
 矯 日本紀の訓による
 直會 續日本紀に直良比
 直 齋定式に奈保留
 惣 万葉に奈麻強
 鯨 魚の名。和名に奈万豆
 歴易 和名に奈万豆波太

なむぢ

汝

万葉に大汝を於保奈牟知と

なめくぢ

虫蛭

虫の名。和名に奈女久知

ならとし

習慣

からふのむたらきあり

ならふふそひ

習

日本紀の訓による

なりとひ

生業

万葉に奈里波比

なる

地震

日本紀に那爲

にう

に

(字音柔) 漢音の奈う 吳音の奈
 又常ににうと呼ぶ 乳 漢音の奈
 又常ににうと呼ぶ 吳音の奈

にかた
 にぎと しいきし
 にぎとひ
 にぎとふへひ
 にト
 にトよぶ よはへび
 にトる るれり
 につつト
 になふ ふへひ
 にた
 にたか

膠 和名に爾加波
 賑 字鏡に爾支波波志
 賑 くにぎとふのそたらきあり
 虹 くにぎとくしの例あり
 呻 和名に爾之
 蹂 靈異記に爾士與夫
 齒芋 字鏡に不彌爾志留
 擔 躑躅あり。和名に仁豆々之
 庭 万葉に爾奈比
 俄 古事記に邇波
 万葉に爾波可

にたくなぶり
 にたづみ
 にたつとり
 にたとり
 にたび
 にひ
 にひがた
 にひなべ
 にふ
 にへ
 にほ

鵲鴿 鳥の名。和名に爾波久奈布里
 潦 万葉に爾波多豆美
 鷄 鳥の名。古事記に爾波都登理
 鷄 鳥の名。にまつとりの例あり
 燎 和名に邇波比
 新 万葉に爾比
 新瀉 地の名。新瀉の假字あり
 新嘗 万葉に爾比那閉
 (字音入。漢音ハ) じふ
 鶯 日本紀に珥倍
 鶯 鳥の名。和名に爾保

にほどり
にほひ
にほふふそひ
にやうふそひ
によう

鳩 鳥の名。名事記に邇本杼理
句 万葉に爾保比
句 万葉に爾保布

(字音) 嬢漢音 娘漢音
(字音) 女漢音 女漢音 女漢音
に漢音 女漢音 女漢音 女漢音

ぬ

ぬえ
ぬかづくかき
ぬなまかき
ぬふかき
ぬふかき

鵺 鳥の名。古事記に奴延
叩頭 和名に奴加豆支
尊 草の名。古事記に奴那波
縫 字鏡に奴布

ね

ねう
ねがふふそひ
ねすみ
ねぢくくほく
ねづつる
ねふ
ねらひ
ねらふふそひ

(字音) 鏡漢音 鏡漢音 尿漢音 溺漢音
願 万葉に禰可比
鼠 獸の名。和名に禰須美
頑 和訓葉の假字による
捻 和訓葉の假字による
(字音) 捻漢音 捻漢音
狙 ねらふ漢音 の漢音 ねらふ漢音 の漢音 ねらふ漢音 の漢音
狙 万葉に禰良比

のいそみ
 のう
 のごふふふへひ
 のたまふふへひ
 のづち
 のごぶえ
 のむごぶえ
 のろふふへひ
 のわき

肉刺 和名に乃以須美

拭 (字音農。濃。膿。能。これら漢音ハとウ) 字鏡に乃己不

宣 字鏡に乃太万不

野槌 毒虫の名。字鏡に乃豆知

吭 のむごぶえの例あり

吭 和名に乃無土布衣

呪詛 靈異記に乃呂不

暴風 和名に乃和支

は

はいせみ
 さいと
 さう

掃墨 和名に波伊須美

隼人 日本紀の訓による

(字音保。褒。寶。報。袍。抱。暴。傍。滂。傍。方。芳。房。)

昉。訪。防。彷彿。坊。放。髮。毛。毫。肩。帽。茫。忙。莽。亡。

妄。罔。望。盲。盲。猛。孟。 毛以下吳音ハマウ 烹。棚。彭。 以上吳音ハヒ

刈。萌。莖。 吳音ハ 包。苞。庖。胞。飽。泡。鮑。豹。 これら吳音ハミヤウ

茅。卯。舅。貌。 これら吳音ハメウ 邦。龐。 これら吳音ハホウ 彪。彪。虜。

箒 これら吳音ハヒウ

箒 これら吳音ハヒウ 箒 これら吳音ハヒウ

とうき

伯耆

國の名。和名に波々岐とある
音便あり

とうきばし

彗星

とときばしの音便あり

とうふる

葬

とふるの音便あり

とうむる

葬

とうぶるの例あり

とえ

鮓

魚の名。字鏡に波延

とえ

生

万葉に波要

とがひ

羽交

万葉に羽交

とからふ

謀

日本紀の訓による

とじ

櫛

木の名。とじやみの例あり

とじかみ

薑

草の名。古事記に波士加美

とじく

彈

字鏡に弓波自久

とじとみ

半蔀

半蔀の假字あり

とじまる

始

とじめの例あり

とじめ

始

續日本紀に波自米

とじゆみ

櫛弓

古事記に波士弓

とせ

筭

やとすの例あり

むせをむ

芭蕉

草の名。和名に發勢乎波

とだへ

膚

和名に波太倍

とぢ

耻

とづのたとらきあり

とぢらふ

慚

塵添瑳靈抄の訓による

とづ

耻

万葉に波豆

まつか
まづかしじきじくし
まづくるひ
まつほ
まなぢ
まなづら
まなま
まにふ
まにわり
まねま
まさき

纒 古今集に。初麴のそつか草のつかどつマけたり
慚 万葉に波豆可之
淑 和名に波都久呂比
初穂 初穂の假字なり
帆 和名に波奈知
牛麿 字鏡に波奈豆良
塙 松屋筆記の説による
殖生 古事記に波邇布
半月 和名に波爾和利
唐棣花 草の名。万葉に波爾受
箒 万葉に波々支

まひ
まひ
まふまふ
まふまふ
まふまふ
まふまふ
まふまふ
まふまふ
まふまふ
まへまへ
まへどり
まやりを
まらむひ

灰 和名に波比
匍匐 万葉に波比
匍匐 万葉に波布
延 万葉に波布
(字音乏法。この二字具音ハほう)
祝部 和名に波布利
屠 續日本紀に波布理
蠅 虫の名。和名に波閉
蠅虎 虫の名。和名に波倍度里
速雄 速雄の假字なり
匍匐 さらばふのそたらまきなり

さらむふふそひ
 さらひ
 さらふふそひ
 さらへ
 さらへつもの
 さらわた
 さわかれ
 さゐるあれ

ひいづつてつれ
 ひ

備匳 万葉に腹婆布
 祓 万葉に波良比
 拂 字鏡に波良不
 祓 日本紀に波羅閉
 祓具 日本紀に波閉都母能
 賜 和名に波良和太
 歴齒 和名に波和賀禮
 斷 齒の痛和名に波爲留
 秀 靈異記に備伊互

ひうが
 ひえ
 ひえ
 ひえどり
 ひかげかづら
 ひかふふるふれ
 ひかへ
 ひきゐるあれ
 ひこえ
 ひこづらふそひ
 ひこむえ

日向 國の名和名に比宇賀
 稗 草の名和名に比衣
 比叡 山の名古事記に日枝
 鶺鴒 鳥の名和名に比衣土里
 蘿鬘 草の名和名に比加介加都良
 扣 ひかへのそたらきかり
 扣 史記の訓による
 率 續日本紀に比支爲天
 杪 字鏡に比古延
 引 古事記に比古豆良比
 蘖 和名に比古波衣

ひこゑ
 ひじき
 ひじきも
 ひしほ
 ひじり
 ひさきも
 ひたひ
 ひぢ
 ひぢ
 ひぢりこ
 ひづづるづれ

失聲 和名に比古惠
 鹿尾菜、ひすきものうつれるかり
 鹿尾菜、ひすきもの例あり
 醬 和名に比之保
 聖 日本紀竟宴歌に比志理
 鹿尾菜、和名に比須支毛
 額 和名に比太比
 臂 和名に比知
 泥 日本紀に毘尼
 泥 和名に比知利古
 秀 字鏡に比豆

ひづづるづれ
 ひつじ
 ひづめ
 ひとしほ
 ひとだまひ
 ひとへ
 ひのえ
 びと
 びと
 ひさだ

漬 万葉に比豆知
 羊 獸の名。和名に比豆之
 蹄 和名に比豆米
 一入 古事記にやしほを八鹽とか
 けり
 副車 和名に比刀太万比
 單 和名に比刀閉
 丙 古言梯の説による
 枇杷 菓の名。和名に味把
 琵琶 樂器の名。字音あり
 檜皮 東鑑の訓による

ひひな
 ひひらぎ
 ひひる
 ひやう
 ひよう
 ひろふ
 ひを
 ひをむし
 ふいがう
 ふ

籬 古言梯の説による

杜谷樹、木の名。古事記に比々羅木

蛾 虫の名。和名に比々流

(字音)平。評。丙。病。並。瓶。屏。兵。これら漢音のへい

(字音)氷。綴。

拾 健馬樂歌に比呂波半

氷魚 魚の名。字鏡に比乎

鱗 虫の名。和名に比乎無之

藁籥 ふきがはの音便あり

ふえ
 ふえ
 ふきがえ
 ふくろふ
 ふくをか
 ふじ
 ふしづけ
 ふぢ
 ふぢごろも
 ふぢな
 ふぢむかま

笛 日本紀に府曳

吭 のどぶえの例あり

鞞 和名に布岐加波

梟 鳥の名。和名に不久呂布

福岡 地の名。福岡の假字あり

富士 山の名。和名に浮志

罽 和名に布之都介

藤 草の名。和名に布治

縵衣 和名に不知古路毛

蒲公草、草の名。和名に不知奈

蘭 草の名。和名に不知波加万

ふづくろ
 ふなよそひ
 ふみにじるるられり
 ふりつづみ
 ふるひ
 ふるふふせひ
 ふるまひ

書案 ふみづくろの約めあり
 臙 万葉に布奈與會比
 踰 字鏡に不彌爾志留
 叢 和名に不利都々美
 篩 和名に布流比
 震 字鏡に不留不
 舉止 日本紀の訓による

へう

字音豹漢音ハ表漢音ハ倭漢音ハ標漢音ハ漂漢音ハ療漢音ハ瓢漢音ハ庶漢音ハ塵漢音ハ
 森漢音ハ驤漢音ハ苗漢音ハ廟漢音ハ眇漢音ハ謬漢音ハ繆漢音ハ

へつひ
 へつらふふせひ
 へんぐゑ

竈 催馬樂に反都比
 諂 字鏡に反豆良不
 變化 變化の字音あり

は

ほう

ほうし
 ほし
 ほしいひ

(字音蓬。鳳。龐。豐。賄。封。峯。逢。烽。鋒。縫。奉。捧。棒。
 俸。蒨。菩。拊。剖。擇。仆。衷。これら具音ハ 夢。蒙。蒙。蒙。蒙。これら具音ハ
 邦。蚌。これら漢音ハ 謀。具音ハ
 法師 和名に保字之
 精 和名に保之伊比

ほぶし
ほしひ
ほそのを
ほつえ
ほどほり
ほどらひ
ほのは
ほふ
ほふるるれり
ほほ
ほほづき

脯 和名に保之々
 糒 字鏡に保志比
 兒臍 日本紀の訓による
 末枝 古事記に本都延
 熱 日本紀の訓による
 程 もちひきたりの假字あり
 炎 古言梯の説による
 (字音乏法。この二字漢音ありとふ)
 屠 和名に保布流
 頰 和名に保々
 酸醬 草の名。和名に保々豆岐

ほほむむめみ

合 字鏡に保々牟

ま

まい
まう

烏牛 牛あり。和名に麻伊

(字音)毛。耄。肩。帽。茫。忙。莽。濛。亡。妄。忘。望。罔。網。

鱧。盲。孟。猛。

まうくくろくれ
 まうとすせし
 まうづつるつれ
 まかなひ
 まかなふふそひ

設 まくの音便あり
 申 佛足石歐に麻字佐牟
 詣 催馬樂に万字天
 賄 まかふの例あり
 賄 字鏡に方加奈不

まがひ
 まがふふまへ
 まぐとししきしげし
 まぐまひ
 まじこるるれり
 まじなひ
 まじなふふまへ
 まじえるるれり
 まじふふまへ
 まじもの
 まじらふふまへ

躰 祝詞式に麻賀比
 紛 竟宴歌に万賀布
 細 万葉に麻具波思
 邁合 古事記に麻具波比
 率 祝詞式に麻自許利
 禁厭 小右記に万志奈比
 禁厭 ましあひのまたらきあり
 交 まあふの例あり
 交 万葉に麻自倍
 盞 字鏡に万自物
 交 ましるの例あり

まじり
 まじるるれり
 まじろぐぐがき
 まじわざ
 まそらを
 まぢ
 まづ
 まづししきしげし
 まつえるるれり
 まつふふまへ
 まつるるまへ

毗 ますりの例あり
 雜 万葉に万自留
 暄 字鏡に万志呂久
 盞 ましもの例あり
 丈夫 万葉に麻周邏遠
 貧 古事記に麻治
 先 万葉に麻豆
 貧 まぢのうつれるあり
 纏 和名に万都波之
 纏 字鏡に万豆不
 歸順 古事記に麻都漏波奴

まどひ
 まとふふとへ
 まどふふとへ
 まとる
 まないた
 まなじり
 まひ
 まひ
 まひなひ
 まふふへ
 まへ

惑 纏 惑 圓居 眊 俎 舞 幣 舞 賄賂 前

續日本紀に麻度比
 まつふのうつれるきり
 まどひの例きり
 神樂歌に万刀爲
 和名に末奈伊太
 和名に万奈志利
 古事記に麻比
 古事記に麻肥
 日本紀の訓による
 まひのそたらききり
 古事記に麻弊

まへつぎみ
 まゆきみ
 まよとしがみ
 まよひ
 まよふふへ
 まよふふへ
 まらうど
 まるるれり
 まをせし

卿 黛 迷 迷 紕 客 參 申

日本記の訓による
 和名に万由須美
 まよふの例きり
 まよふの例きり
 續日本紀に迷遍流
 和名に万與布
 まらびとの音便きり佛足石
 歌に客を麻良比止といへり
 神樂歌に万爲利
 古事記に麻袁須

み

みえ
みかた
みぎと
みさを
みじかしささぐし
みそぢ
みちのおく
みづ
みづ

所見 古事記に美延
參河 國の名。和名に美加波
汀 水際の假字あり
操 靈異記に彌佐乎
短 万葉に美自可伎
三十 佛足石歌に彌蘇知
陸奥 國の名。和名に美知乃於久
水 古事記に美豆
瑞 日本紀に彌圖

みづらみ
みづかき
みづがき
みづかね
みづから
みづぐき
みづち
みづどり
みづのえ
みつと
みづら

湖 和名に美都宇美
蹊 和名に美豆加支
瑞垣 和名に美豆加岐
水銀 和名に美豆加禰
自 續日本紀に身都可良
水莖 水莖の假字あり
魴魴 和名に美豆知
水鳥 水鳥の假字あり
壬 古言梯の説による
罔象 日本紀に美都波
鬚 古事記に美豆羅

みなわ
 みへ
 みみしひ
 みみぞ
 みみづく
 みやう
 みやづかへ
 みわ
 みを
 みをづくし

水泡 水づのあわの約めきり
 三重 郡の名。三重の假字あり
 聾 字鏡に耳志比
 蚯蚓 虫の名。字鏡に彌々受
 木兔 鳥の名。和名に美々都久
(字音明。名。命。鳴。冥。漢音ハ。猛。漢音ハ。)
 宮仕 万葉に宮都加倍
 酒瓮 日本組に瀨和
 水脉 万葉に美乎
 濤標 万葉に水乎都久志

むかひめ
 むかふふへひ
 むかふふへふれ
 むくい
 むくもゆるゆれ
 むじな
 むすむとるるれり
 むすばほるるれり
 むらじ

嫡 向 迎 報 報 貉 結 結 連

字鏡に牟加比米
 古事記に牟加布
 古事記に牟加閉
 字鏡に牟久伊
 むくいの例あり
 獸の名。和名に牟志奈
 字鏡に牟須波々留
 むすばほるのうづれるあり
 万葉に武良自

め

めあそとせ するすれ
めう めくそす せるすれ
めしうど
めしひ
めづ づで づれ
めづらか
めづらし しき しげ
めさじき

妻

和名に米阿波須

〔字音〕

苗。猫。廟。妙。 漢音ハ

陶

眞名伊勢物語の訓による

囚人

めしびとの音便なり

盲

字鏡に目志比

愛

日本紀に梅豆留

珍

めづらしの例なり

珍

日本紀に梅豆邏志

菫蔚

草の名。和名に米波之支

めひ

も

姪

和名に米比

もう
もえ
もえ
もえぎ
もえぐひ
もせ
もたひ
もたふ ふるふれ

〔字音〕 蒙。朦。朦。 漢音ハ

ぼう

燃

和名に毛延

萌

續日本紀に毛延

萌黃

古言梯の説による

燼

和名に毛延久比

賜

鳥の名。字鏡に毛受

甕

和名に母太比

悶

和訓栞の假字による

もち
もちひ
もちふふるふれ

餅 用

鑽り。和名に毛遅
和名に毛知比
本居翁の説による。此詞ハも
ちもちちといふ詞を上二段に
活用せしまでにてひひふふる
ふれにハ意ちままこといまま
といふ詞をままひひままぶぶあ
ららといふ詞をあららびびあららぶ
と活かすと同とくことさり。然
るに醫心方。延喜式の古訓に
もちぬとありといふ説あれ

もちるるれり
もづく
もどほるるれり
もどゆひ
もどる
ものぐるひ

捫 水雲 徘徊 簪 基 癡狂

ども醫心方にハもちらとも
もちひとももちぬともあり
て一定の假字にハあらず。延
喜式も誤脱ありて定から
ず。
もちの例り
海菜り。和名に毛豆久
和名に毛度保利
和名に毛刀由比
本居の假字り
和名に毛乃久流比

もひ
もみぢ
もよほすおせし
もらふふへひ

盛 和名に毛比
紅葉 万葉に毛美知
催 古言梯の説による
賻 字鏡に毛良比

や

やいぐし
やいむ
やう
やうやう

弗練 和名に夜以久之
刃 やきはの音便あり
(字音影。環。永。漢音ハ。えい。陽。揚。楊。揚。瘍。羊。洋。伴。痒。養。樣。恙。央。)
漸 神樂歌に也字也字

やしなふふそへひ
やしむむそへひ
やじり
やどふふそへひ
やなぐひ
やとし
やとす
やたらか
やたらぐぐがき
やへ
やは

養 字鏡に也志奈不
玄孫 和名に夜之波古
鏃 字鏡に也志利
雇 續日本後組の訓による
箴 字鏡に也奈久比
和 万葉に夜波之
和 和名に夜波須
和 和名に夜波良
八重 古事記に夜弊
八百 古事記に夜本
やたらかの例あり

やまうた
やまひ
やよひ
やらふ
やをら

山人 やまびとの音便あり
病 和名に夜万比
三月 古言梯の説による
逐 日本紀に夜羅賦
(辭) 古言梯の説による

ゆ

ゆう
ゆくへ
ゆげひ
ゆざり

(字音用) 勇 筈漢音ハ 雄 熊 融 形 裕
行方 万葉に由久徹
靱負 和名に由个比
鞆 和名に由佐波利

ゆづ
ゆづり
ゆづる
ゆづると
ゆとす
ゆひ
ゆふ
ゆふふ
ゆふき
ゆふさり

茹 字鏡に由豆
讓 佛足石歌に由豆利
讓 竟宴歌に由都留
交讓木、木の名。万葉に由豆流波
弭 万葉に弓波受
備人 もちひきたりの假字あり
木綿 豊後風土記に袖富
夕 万葉に由布
結 万葉に由布
結城 郡の名。和名に由不岐
暮 字鏡に由布佐利

ゆふだち

ゆふづつ

ゆふべ

ゆわう

よ

夕立 夕立の假字あり
 太白星、星の名。和名に由不豆々
 夕 万葉に由布敷
 硫黄 和名に由王
 故 古事記に由惠

よこたえる るらり
 よこたふ ふるふれ

横 (字音用。甬。勇。備。踊。容。蓉。庸。雍。擁。營。鷹。膺。鷹。)
 横 遊仙窟の訓による
 横 遊仙窟の訓による

よそふ ふそひ
 よそふ ふそひ
 よそは ふそひ
 よそは ふそひ
 よづ ちるふれ
 よそひ ふそひ
 よそひ ふそひ
 よそふ ふそひ
 よそふ ふそひ
 よひ ふそひ
 よみがへる るらり

装 古事記に與會比
 准 万葉に與會倍
 粧 佛足石歌に與會保比
 粧 よそほひの例あり
 攀 万葉に與治等理
 齡 竟宴歌に與波比
 婚 古事記に用婆比
 婚 靈異記に與波不
 呼 よばひの例あり
 宵 日本紀に豫臂
 蘇生 字鏡に與彌還

よみぢ
 よろづ
 よろひ
 よろふふとひ
 よろぼふふとひ
 よわしさくし
 よわるられり
 らう
 らふ

ら

黄泉 古言梯の説による
 萬 日本紀に豫呂豆
 鎧 和名に與路比
 具 万葉に與呂布
 透迤 催馬樂に與呂保比
 弱 字鏡に與和志
 弱 よわしの例あり

(字音)老。牢。勞。潦。醪。郎。廊。朗。浪。琅。娘。娘。
 (字音)拉。臘。蠟。

りう

り

りふ
 りやう
 りよう

る

(字音)留。溜。瀟。露。柳。劉。流。旒。これら吳音ハる
 隆。
 (字音)立。笠。粒。
 (字音)苓。苓。零。靈。令。領。冷。これら漢音ハれい
 梁。量。糧。涼。諒。魴。
 (字音)龍。吳音ハ 凌。陵。綾。櫻。稜。

れれ
らう

れ

(字音) 燎。縹。療。了。聊。料。寮。僚。錄。鷓。聲。蓼。蓼。
(字音) 獵。獵。

ろ
う

ろ

(字音) 籠。瀧。壘。壘。弄。これら吳音 婁。樓。縷。樓。鏤。
騰。樓。樓。陋。漏。これら吳音 龍。隴。

わ

輪 和名に和

わいだめ
わう
わきまふ
わくらと
わざ
わざとひ
わざとき
わし
わしる
わたつみ
わたらひ

分別 わきための音便あり
(字音) 王。往。枉。旺。汪。冠。皇。凰。黃。橫。
辨 もちひきたりの假字あり
邂逅 万葉に和久良葉
作業 日本紀の訓による
禍 三代實錄に災比
俳優 古言梯の説による
鷲 鳥の名。和名に和之
走 靈異記の訓による
海 日本紀に和多都美
生計 古言梯の説による

わたらしひ
 わづか
 わづらひ
 わづらふふとひ
 わづらうづ
 わらと
 わらとべ
 わらとやみ
 わらふふとひ
 わらふだ

度會 郡の名。和名に和多良比
 纒 古事記の訓による
 煩 万葉に和豆良比
 煩 わづらひのそたらきかり
 屠 わらぐつの音便かり
 童 字鏡に和良波
 童男女、和名に和良波倍
 瘡 和名に和良波夜美
 笑 字鏡に和良不
 圓座 和名に和良布太

ゐ

ゐゐゐゐ

ゐき
 ゐぐひ
 ゐさらひ
 ゐさり

猪 獸の名。和名に井
 藺 草の名。和名に爲
 井 和名に爲

(字音爲。章。位。威。謂。滑。偉。委。萎。尉。惟。維。唯。
 帷。遺。透。恚。洧。鮪。違。圍。圍。慰。畏。胃。彙。緯。葦。
 (字音域。械。闕。漁。

堰杭 古事記に章具比
 臀 和名に爲佐良比
 耒底 農の具。和名に爲佐利

ゐざり
 ゐせき
 ゐつ
 ゐで
 ゐなか
 ゐのこ
 ゐのえし
 ゐん
 ゐもり
 ゐや

膝行 古言梯の説による古事記傳
にそ伊佐留かといへり
 堰埭 和名に爲世支
(字音) 津鷗
 堰埭 ゐぜきの例あり
 田舎 和名に爲奈加
 豚 獸の名。日本紀に偉能古
 野猪 獸の名。ゐのこの例あり
(字音) 尹。允。勻。筠。韻。殞。隕。員。院。
 蛸 虫の名。字鏡に爲毛利
 禮 ゐやびの例あり

ゐやぎり
 ゐやび
 ゐやまふ
 ゐる
 ゐる
 ゐる
 ゐる

禮代 ゐやびの例あり
 禮 續日本紀に爲夜備
 禮 ゐやびの例あり
 居 和名に爲流
 率 ひきゐるの例あり

ゑ
 ゑ
 ゑ

ゑ

餌 魚鳥の食。和名に惠
 畫 繪の字音あり
(字音) 惠。慧。これら漢音のけい。隈。穢。これら漢音のわい。回。會。繪。
淮。環。廻。漢音のくわい。畫。漢音のくわい。衛。鳥。

ゑい
ゑかき
ゑぐしきさくし
ゑくば
ゑつ
ゑづらか
ゑどり
ゑふふへ
ゑみ
ゑむむみ
ゑん

(字音)衛

畫工 繪書の假字あり

醜 味あり。和名に惠久之

厯 和名に惠久保

(字音)越。粵。曰。鉞。贖。

嘲 靈異記に惠都良可

屠兒 和名に惠刀利

醉 古事記に惠比

笑 古事記に惠美

咲 ゑみの例あり

(字音)袁。遠。轅。猿。園。爰。援。媛。宛。苑。怨。婉。鶯。

を
を
を
を
を
を

ゑらがぐが
ゑるられれ

を

垣。寃これら。淵音ハ。瑗。媛。圓。

嘘樂 續日本紀に惠良伎

彫 佛足石歌に惠利

男 せのこの例あり

岑 せのへの例あり

尾 鳥獸の尻の毛。和名に乎

緒 絲の類の長きもの。和名に乎

苧 麻あり。和名に乎

小 和名に艇を乎夫禰

を

をう

をうと

をうな

をうなご

をか

をか

をかし しきしきし

をかそ すせし

をかつつじ

悪。 (字音衰。遠。怨。烏。乎。呼。鳴。鳩。弘。越。曰。憾。廻。汗。

(字音翁。雲。瓮。雄。泓。嫗。

夫 和名に乎字刀

女 せみぎの音便あり

女子 せうぎの例あり

岡 古事記に遠加

陸 岡の假字の例あり

可笑 字鏡に阿奈乎加之

犯 古言梯の説による

茵芋 躑躅あり。和名に乎加豆々之

をがむ むみ

をかやま

をぎ

をく かき

をく

をけ

をけら

をこ

をこじ

をこたる るれり

をこる るれり

拜 せろがむの例あり

岡山 地の名。岡山の假字あり

萩 草の名。和名に乎伎

招 古事記に遠岐斯

(字音屋

桶 和名に乎計

朮 草の名。字鏡に乎介良

嗚呼 古事記に袁許

鱸 魚の名。字鏡に乎己自

怠 字鏡集の訓による

奢 本居翁の説による。せことい

をさ
 をさ
 をさなご
 をさなし さき
 をさまる らり
 をさむ むら
 をさ むら
 をし しき
 をし しき
 をしき

箴 ふ詞の轉也
 機の具字鏡に乎左
 長 万葉に乎佐
 幼兒 長無兒の假字あり
 幼 をさごの例あり
 治 をさむの例あり
 治 万葉に乎佐牟
 (辭) 万葉に乎佐乎佐毛
 鴛鴦 鳥の名日本紀に烏志
 惜 古事記に乎志
 折敷 をりまきの約めあり

をしふ ふる
 をしへ ふれ
 をしむ むら
 をし むら
 をそ すせ
 をたけび
 をち
 をち
 をち
 をちかへる らり

教 和名に乎之閉
 教 日本紀竟宴歌に哀志弊
 惜 万葉に怨之美
 食 古事記に哀須
 獺 獸の名和名に乎曾
 雄詰 古事記に伊都之男建
 遠 日本紀に烏智
 老翁 日本紀に烏賦
 伯父 字鏡に乎地
 返 初めに還るあり万葉に遠知
 米也母

をちこち
 をぢなしさびし
 をつ
 をつ
 をつ
 をとつひ
 をとどし
 をとどひ
 をとめ
 をとめ
 をとり

遠近 万葉に乎知許知
 懦弱 佛足石歌に乎遲奈伎
(字音越。漢音ハ) 沒臚
 現 万葉に乎都々
 男 古事記に遠登古
 前日 万葉に乎登都日
 前年 せとつひの例あり
 前日 せとつひの例あり
 少女 古事記に遠登賣
 少女子、せとめの例あり
 媒鳥 和名に乎度利

をどり
 をどるるらり
 をの
 をのこ
 をのこ
 をのくくかき
 をのへ
 をむ
 をむな
 をえり
 をえり

踊 万葉に乎杼里
 踊 万葉に乎杼里
 斧 工匠の具。和名に乎能
 男 和名に乎乃古
 男兒 せのこの例あり
 戦慄 字鏡に乎乃々久
 峯上 峯の上の假字あり
 伯母 字鏡に乎婆
 尾花 薄の穂。万葉に乎波奈
 尾張 國の名。和名に乎波里
 終 和名に乎波里

をえる るれり
 をひ ふれ
 をふ ふれ
 をみな ふれ
 をみなべし
 をむなめ
 をん
 をんな
 をんなご
 をめく かき
 をり

終 万葉に乎波里
 甥 和名に乎比
 終 佛足石歌に乎閉卒
 女 古事記に袁美那
 女郎花、草の名。万葉に乎美奈敵之
 妾 和名に乎無奈女
 (字音)温。蘊。稔。袁。遠。園。怨。苑。莖。袁字より下の六字漢音ハズル
 女 せみおの音便あり
 女子 せみおの例あり
 叫 うめくよりうつれる假字あり
 檻 毛詩の訓による

をり
 をる るれり
 をる るれり
 をる るれり
 をろがむ むみ
 をろち
 をを
 ををし しき

節 日本紀の訓による
 居 万葉に乎流
 折 万葉に乎利
 拜 日本紀に烏呂餓彌豆
 大蛇 蛇あり古事記に遠呂智
 聲 答ふる聲。日本紀に越々
 雄々、日本紀の訓による

明治十七年五月十日版權免許
同 年 九 月 三 十 日 出 版

大分縣士族

著述兼出版人 物 集 高 見

東京本郷區弓町
貳丁目貳拾八番地

東京府平民

出 版 人 清 水 卯 三 郎



東京日本橋區本町
三丁目貳拾番地

東京日本橋區通り壹丁目	須原屋茂兵衛
同	山城屋佐兵衛
同	小林新兵衛
同	丸屋善七
同	中外堂梅次郎
同	椀屋喜兵衛
同	嶋屋一介

同	通り壹丁目	大倉屋孫兵衛
同	南傳馬町壹丁目	吉川半七
同	南傳馬町壹丁目	叢書閣
同	同京橋區銀坐四丁目	博聞本社
同	同南鍋町	兎屋誠
同	同芝區三島町	泉屋市兵衛
同	同柴井町	土屋忠兵衛

賣

西京河原町通り二條下_ル貳丁目 大黒屋書肆

大坂備後町四丁目 梅原龜七

捌

同 心齋橋通り北久寶寺町 三木佐助

同 心齋橋通り 叢書閣

所

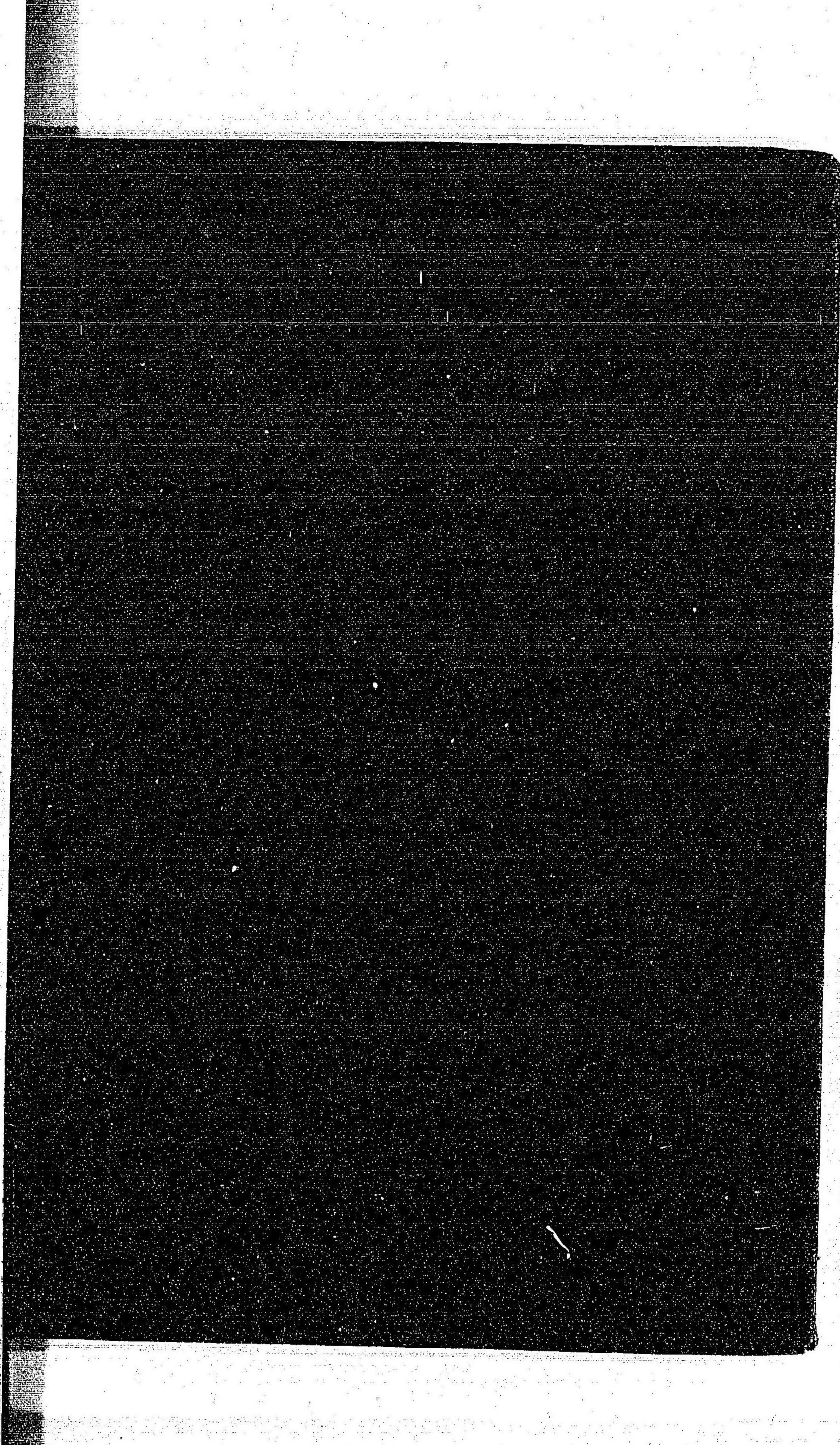
信州上田原町 鼠屋甲造

東京本町三丁目貳拾番地

發兌書肆

瑞穂屋卯三郎

定價四十錢





077085-000-6

特71-452

かなのしをり

物集 高見/著

M17.9

DAC-0269

